

報道関係者各位
プレスリリース

2014年12月2日
グローバルセキュリティエキスパート株式会社

グローバルセキュリティエキスパートが日本弁理士会から 知的財産活用支援賞を受賞しました

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区西新橋1-2-9、代表取締役社長：久慈 正一、<http://www.gsx.co.jp>）は、同社コンサルティング事業部の営業秘密管理活動における明確なる目的と計画性が讃えられ、日本弁理士会主催の知的資産経営フォーラム2014において、知的財産活用支援賞（営業秘密管理部門）を受賞しました。



（左：GSX代表取締役専務 相原 秀明 右：日本弁理士会会長 古谷 史旺 様）

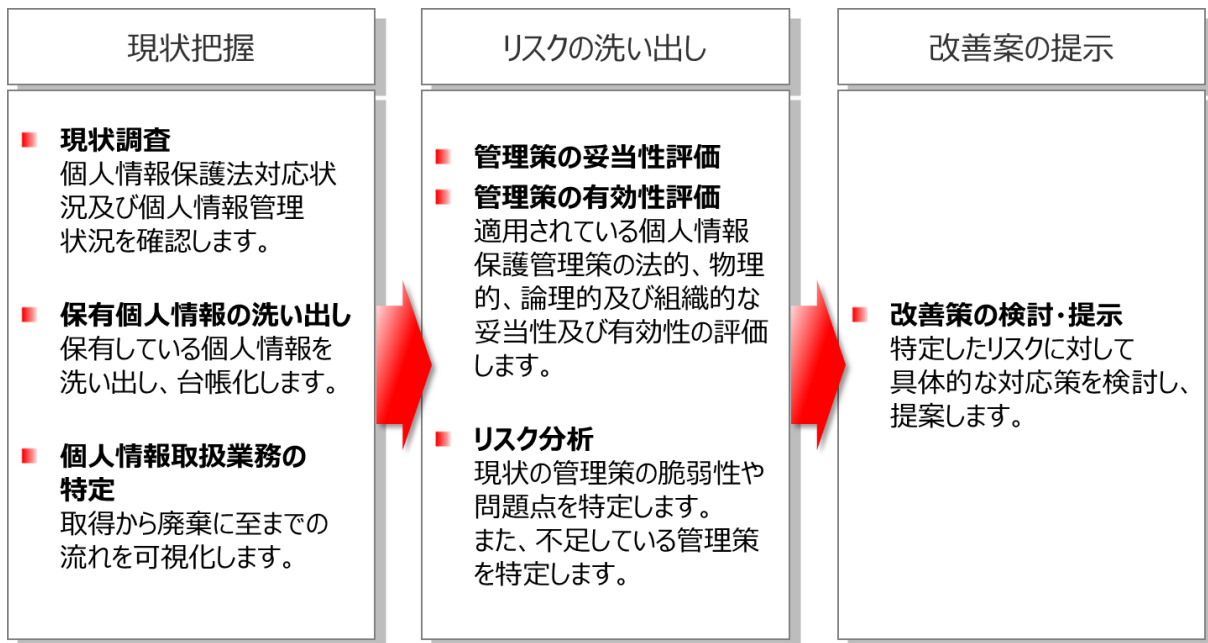


受賞者の皆様

この度当社が協力させていただいた事例は以下の通りです。

顧客	インターネットを活用した特定業界職種向け人材紹介業（業界最大手）。
目的	個人情報管理に関するリスク、課題及び根本原因を分析し、具体的な改善につなげることを目的とした。
調査手法	文書調査及び各部署へのヒアリングによる「現状把握」「リスクの洗い出し」結果に対し、課題の原因を分析した上で、「改善案の提示」を報告書にまとめた。
調査期間	約3ヶ月
評価方法	顧客の情報セキュリティポリシーを基準として、現状を評価した。ただし、課題の原因が情報セキュリティポリシーそのものにある場合も考慮して改善策を提示した。

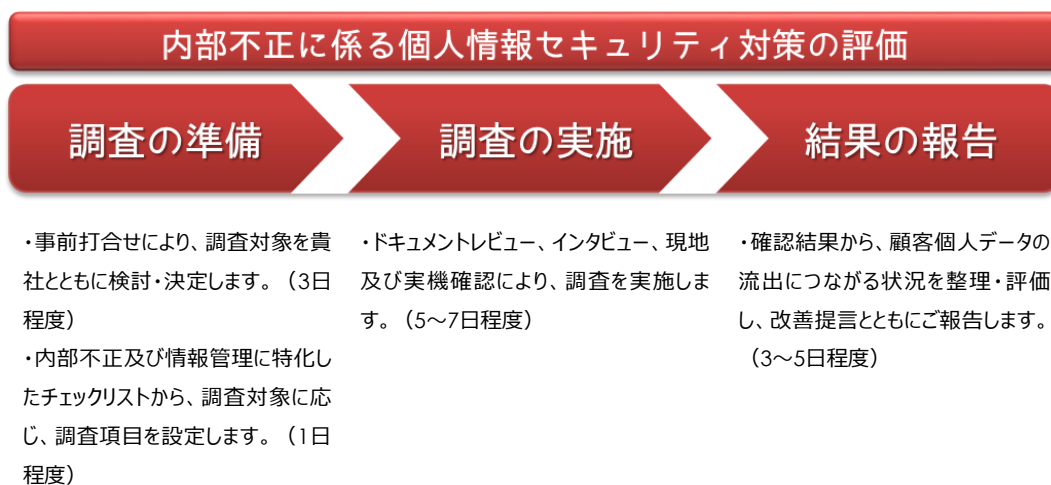
また本事例において特許事務所様へ提供したコンサルティングサービスは次のとおりです。



当社では関連するサービスとして[内部不正に係る個人情報セキュリティ対策の評価現状調査サービス](#)をご提供しております。内部犯行機会の低減に向けての現状調査サービスとなります。

◆本サービスの概要

本サービスは、多岐・複雑な内部犯行の発生要因について、情報管理の側面から、貴社顧客個人情報の流出につながる環境を検出し、状況の評価いたします。貴社におかれましては、内部不正対策の一環として、検出した環境の改善につなげることで、流出機会の低減に寄与いたします。



◆本サービスの特徴

1. 確認結果から、顧客個人データの流出につながる状況を整理・評価し、調査対象は、ビジネスインパクトの観点から、影響が甚大に及ぶものにフォーカスします。具体的には、「内部者」による顧客個人データの「大量流出」に関するものを調査対象とします。改善提言とともにご報告します。（3～5日程度）

調査対象の着眼点	<ul style="list-style-type: none"> ・内部者 <ul style="list-style-type: none"> - システム管理などの相対的に高いIT技術を有する要員 - 分業化、専門化された業務 - 監視性が低い業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・大量流出 <ul style="list-style-type: none"> - 顧客個人データの保管量 - 持ち出しの外部接点になる環境
-----------------	---	--

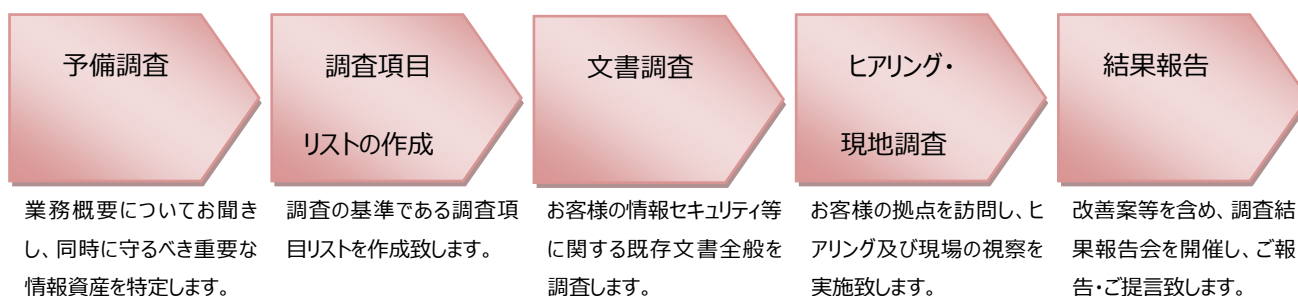
2. 本サービスは、多岐・複雑な内部犯行の発生要因について、情報管理の側面から、貴社顧客個人情報の流出につながる環境を検出し、状況を評価いたします。貴社におかれましては、内部不正対策の一環として、検出した環境の改善につなげることで、流出機会の低減に寄与いたします。

調査項目 (概略)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的・人的調査項目 <ul style="list-style-type: none"> - 基本方針、顧客個人情報管理手続の整備状況 - 要員周知、委託先管理の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的・技術的調査項目 <ul style="list-style-type: none"> - 制限区画へのアクセス状況・監視状況 - ネットワーク、システム、クライアント環境、及びそれらを通じたデータアクセス状況・監視状況
----------------------	--	---

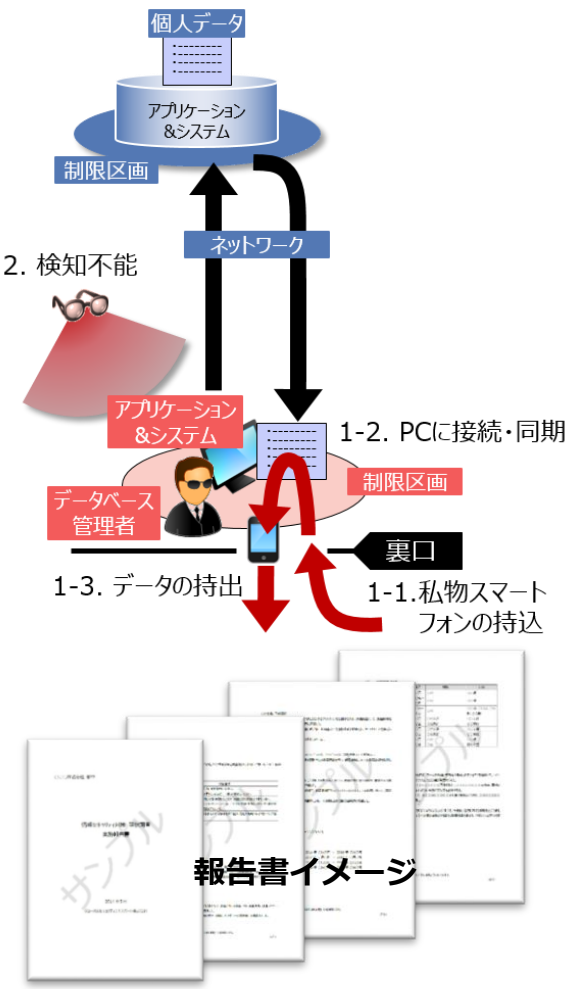
3. 調査結果から現在の環境を整理し、大量の顧客個人データの流出につながる状況を評価します。

評価	危険な状況	未許可の持ち出しが直ちに可能な環境
	要注意な状況	ある条件が揃えば、未許可の持ち出しが可能な環境
	管理された状況	未許可の持ち出しが困難な環境

◆本サービスの実施フロー



◆報告書イメージ

評価	大量の顧客個人データ持ち出しに対し、危険な状況にあります。
検出事項	想定イメージ
<p>1.データベース管理者が、制限区画への私物持込ルールは形骸化しており、私物スマートフォンの持ち込みが可能です。かつ、管理者用PCにスマートフォンを接続し、デバイス側からデータ同期が可能であるため、未許可の持ち出しが直ちに可能な環境です。</p> <p>2.データベースのアクセスログ及びPCの操作ログを収集・保存しているものの、監視・分析が実施されていないため、未許可の持ち出しを検知できない環境にあります。</p>	 <p>2. 検知不能</p> <p>1-2. PCに接続・同期</p> <p>1-1. 私物スマートフォンの持込</p> <p>1-3. データの持出</p> <p>裏口</p> <p>報告書イメージ</p>
改善提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザデータのローカル保存を禁止する。 ・データベース管理者のユーザIDに管理者用PCのローカル特権がないことを確認するとともに、当該PCのデバイス制御ツールがスマートデバイスの使用制限に対応していることを確認する。 ・制限区域への持込ルール、監視カメラ等のモニタリングを見直す。 ・データベース管理者の業務内容を見直し、ユーザデータの保守業務及びユーザデータへのアクセス権限を分離する。 ・今後、同様の技術変化に対し、現在のコントロールが新たな脅威に対して有効であること、脆弱性がないことを、定期的及び必要に応じて見直すことを定め、見直し結果を責任者に報告する。 	

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社
本社 : 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-2-9 日比谷セントラルビル 21F
代表者 : 代表取締役社長 久慈 正一
資本金 : 2億7,000 万円
コーポレートサイトURL : <http://www.gsx.co.jp/>

事業内容 :

国内初の情報セキュリティ専門コンサルティング会社として2000年に設立され、セキュリティ診断、セキュリティポリシーの導入、リスクマネジメント、システム実装、監視サービスにいたる広範な情報セキュリティサービスを提供しています。

情報セキュリティポリシーの国際標準基準となった英国規格協会 (BSI) のBS7799 (現ISO27000) を日本に初めて紹介し、高品質な情報セキュリティコンサルテーションを行っています。

さらに、高い技術を有し、システムの脆弱性の検出のために侵入検査などさまざまな診断を行う「タイガーチームサービス(TIGER TEAM SERVICE)」や標的型メール訓練サービスを始めとする新しい脅威に対抗するソリューションをご提案する「サイバーセキュリティサービス」及び企業様のセキュリティポリシーの策定・リスクアセスメント・システム監査または、ISMSやPマーク取得支援などを行っているコンサルティング事業部を組織しております。

「サイバーセキュリティサービス」は、GSXサイバーセキュリティ研究所 (GSX Cyber Security Research Institute) を要し、セキュリティ製品評価やサイバー攻撃に関する情報収集及び分析、セキュリティインシデント対応要員の育成を進めており、問題指摘のみならず、インシデントに対する解決策までをワンストップで提供できる体制を整えています。

【本件に関するお問い合わせ先】

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 事業開発部 マーケティング室
TEL : 03-3507-1360 (代) E-mail : mktg@gsx.co.jp